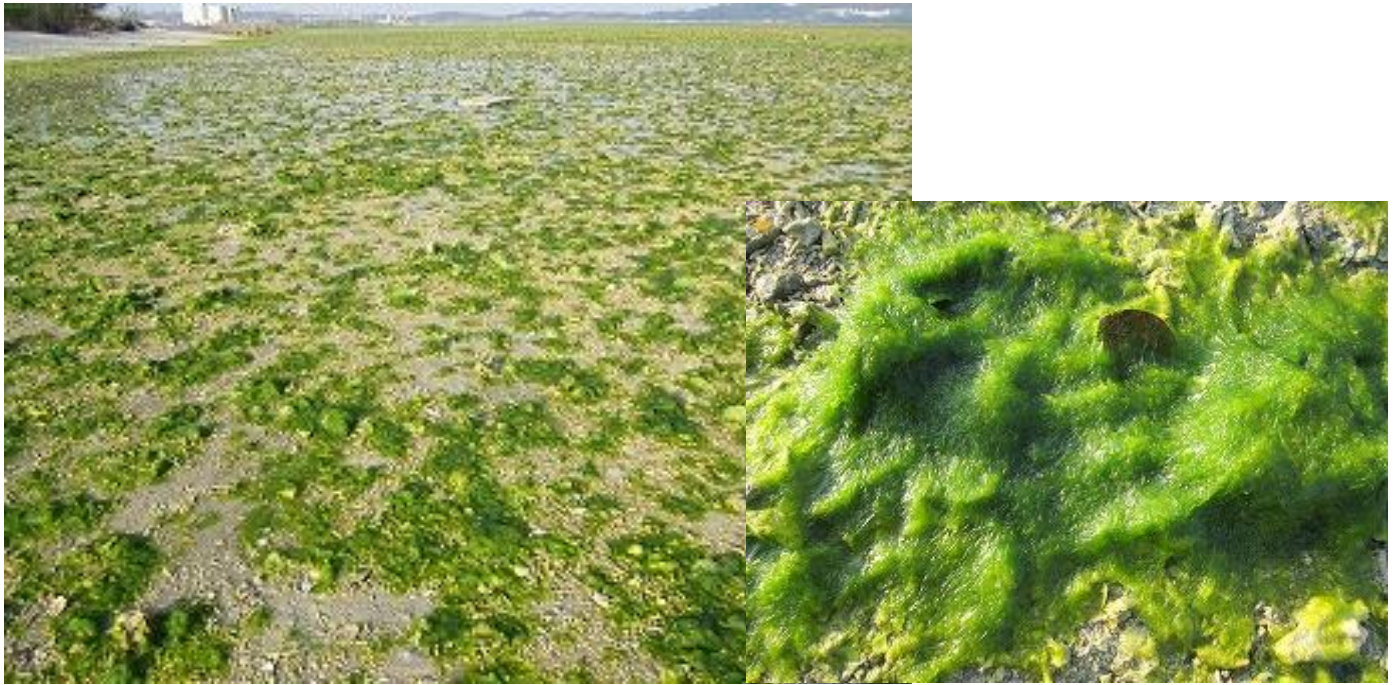




ヒトエグサ（アオサ目ヒトエグサ科）

Monostroma nitidum

大きさ：直径 10～30cm。

特 徴：沖縄では「アーサー」として親しまれ、食用とされている。体は薄くてやわらかい。触るとヌルヌルしている。

分 布：本州太平洋岸中・南部、本州日本海岸南部から南西諸島：朝鮮半島から中国

風が冷たい冬の12月・1月くらいから、泡瀬干潟の海岸沿いは徐々に緑色に変化する。その緑色の正体は、ヒトエグサなどの海藻である。主にサンゴレキなどについて生長するが、3月くらいには大きく生長し、収穫可能となる。収穫後は、海水などでよく砂を洗って落とし、お吸い物やテンプラなどに料理すると、大変に美味である。沖縄の春先の風物詩である。隣町の北中城村や南城市では、養殖も盛んである。

「ヒトエグサについて」

出典；諸喜田編著、サンゴ礁域の増養殖(1988)より

ヒトエグサ（方言名アーサ）は、冬から春にかけて潮間帯に出現する緑藻で、一層の細胞でできていることから、その名称がつけられた。沖縄の陸上では、季節的变化に乏しいが、海岸では種々の海藻が冬春期になると繁茂し、特にアオサ類やヒトエグサ類が海岸に緑のじゅうたんを敷きつめたようになる。ヒトエグサの収穫風景は、冬場の風物詩となっており、採れたものはアーサ汁として食される。

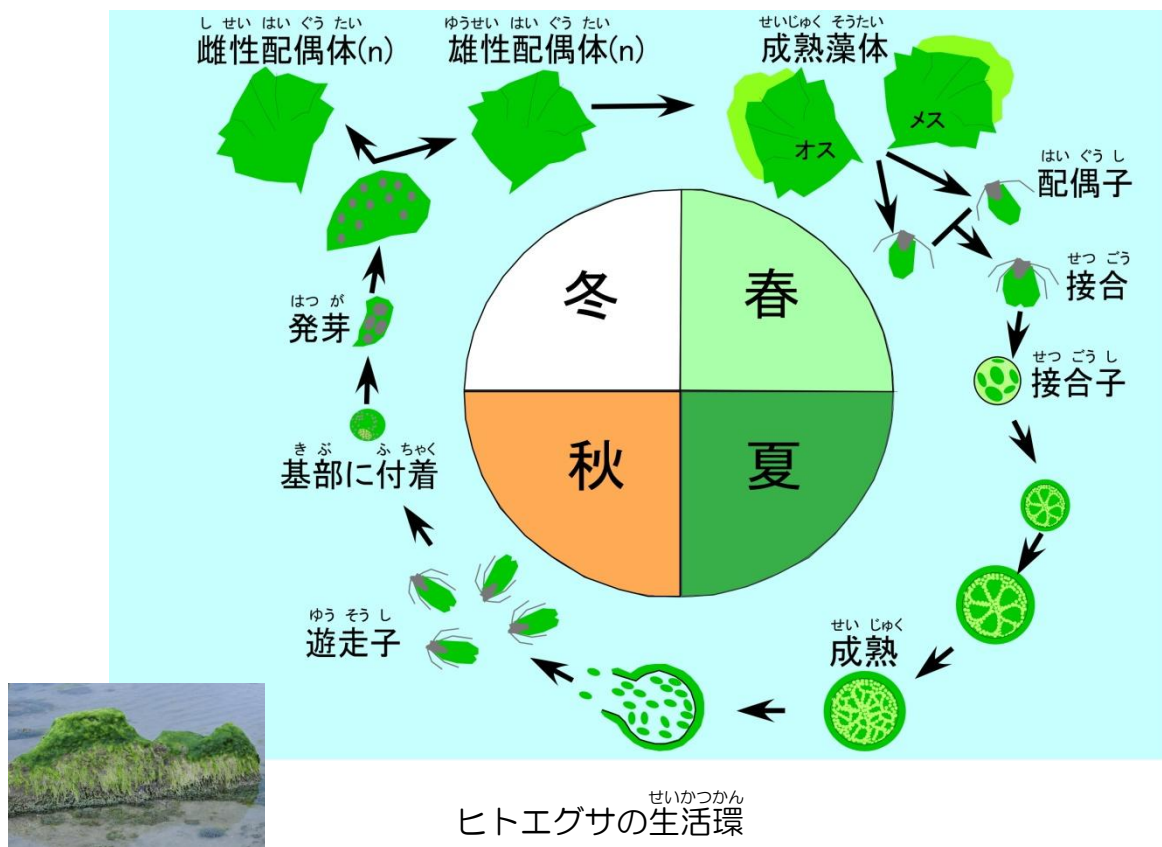
生態と生活史

1. 生育場所

主に波静かな内湾やリーフの発達した海岸の、潮間帯上部の転石や岩盤に繁殖する。塩分に対する適応が幅広く、干出にもかなり強いので、他の藻類が生育できない位置にも繁殖する。

2. 生活史

ヒトエグサは1年生海藻で、一生の間に配偶体と胞子体の二つの世代をもっている。普段私たちが目にするヒトエグサは配偶体で、雄株と雌株があるが見た目には区別がつかない。配偶体は、成熟すると2本の鞭毛を持つ配偶子を放出する。配偶子には雄と雌があり、両方とも活発に泳ぎまわる。雄と雌が接触すると、すぐに接合しはじめる。配偶子は、明るい所に集まる習性（走光性）を持っているが、接合すると逆の負の走光性を示して暗い所へ移動し、付着基盤にくっついて接合子となる。天然では、放出された配偶子は海面近くで接合し、そのあと海底の岩かげなどに移動していくものと思われる。配偶子は細い涙滴型で長さは8ミクロン前後、接合子は5ミクロンくらいである。夏の期間に接合子は70ミクロン前後に生長し、日照時間が少なくなり水温が下がりはじめる9月には成熟する。成熟した接合子は、遊走子嚢となり、鞭毛を4本持った遊走子を放出する。形は、配偶子と同様であるが、大きさは9~10ミクロンで遊走子のほうがやや大きい。水温が25℃前後になる9月下旬から10月上旬にかけて遊走子の放出が盛んとなる。放出された遊走子は、走光性があり、明るい方へと移動し、基盤に付着して発芽する。それが生長して、海岸の岩場を緑色に埋め尽くす葉状体（配偶体）となる。



増養殖法

ヒトエグサの採苗には、天然の遊走子を網に付ける天然採苗と、塩ビ板などに接合子を付け、水槽で保存し、それから遊走子を網に付ける人工種苗の方法がある。しかし、沖縄ではこれまでに何度か人工種苗が試みられたものの他県との気候条件の違いのため技術が確立するまでに至っていない。

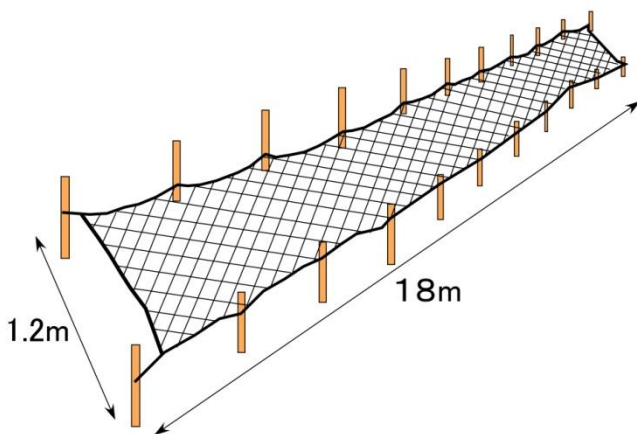
1. 採苗

(1) 天然種苗

時期：9月の下旬ころになると、表面水温が25℃に近くなる。そのころに種の放出が盛んになるので、水温の変化をみて採苗網を設置する。漁場や月齢によって種の放出量に違いがある（大潮のころが多い）ようである。網を早い時期に張り出すと雑藻が多くつきやすく、遅いと種苗の密度が薄くなり、収量も減る。張り出して1カ月くらいになると網が緑に色づきはじめ、40日くらいになると発芽体が肉眼で確認できるようになる。

採苗漁場：採苗の漁場は、天然ヒトエグサの多く繁殖している、北風の影響の少ない波の静かな場所を目安とする。朝、放出された遊走子が満ち潮にのって海岸付近に多く集まる。潮の流れや地形を考慮して遊走子の滞留する場所を探る。底質は、泥が少なく、ヒトエグサ接合子の付着基盤となる礫や転石が付近にある場所が良い。

種網の設置：本養殖漁場で充分採苗できる場合は、本養殖用の杭をそのまま利用する。しかし、採苗漁場と本養殖漁場が違う場合もある。その場合、種網は普通海岸に平行に張る。網を張るための杭は、5分鉄筋や鉄パイプが利用されている。杭は、片側に11本ずつ打ち込む。種網は、数枚重ねてロープで杭に結ぶ。その時、網がたるまないように強く張る。他県では10枚以上重ねて張り出す場合もあるが、沖縄海域では5枚くらいが良好で枚数が多いと種が薄くついてしまうことがある。網を張り出す高さは、平均海水面下37cm前後のレベルを目安にする。



養殖網の設置

